

# 夏季休業期間中における 持ち帰り用端末活用の成果と課題等

(「夏季休業期間中の持ち帰り端末活用結果調査」より)

令和3年10月28日

足立区教育委員会 教育指導部 教育政策課



# 目次

---

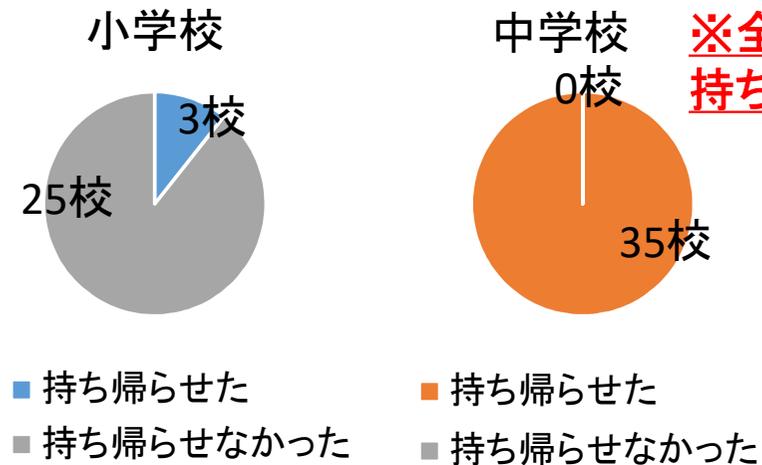
- 1 調査の概要
- 2 夏季休業中に与えた、タブレット端末を活用した課題
  - (1)実際に与えた課題の内容
  - (2)児童・生徒の取り組み状況
  - (3)課題や問題点、及び改善方策
- 3 持ち帰り端末活用の取り組み全体を通じてわかったこと等

# 1 調査の概要

## 「夏季休業期間中の持ち帰り端末活用結果調査」

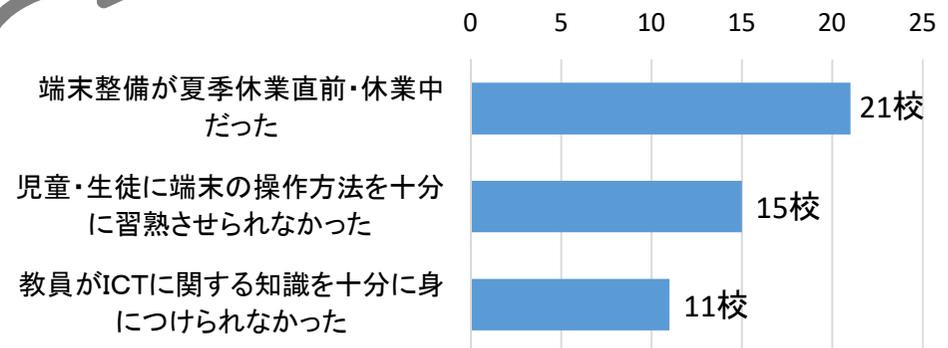
●調査対象校 令和3年7月30日までにChromebookの整備が完了した学校  
(小学校28校、中学校35校)

●夏季休業期間中にタブレット端末の持ち帰りを実施した学校



※全ての中学校が  
持ち帰りを実施した

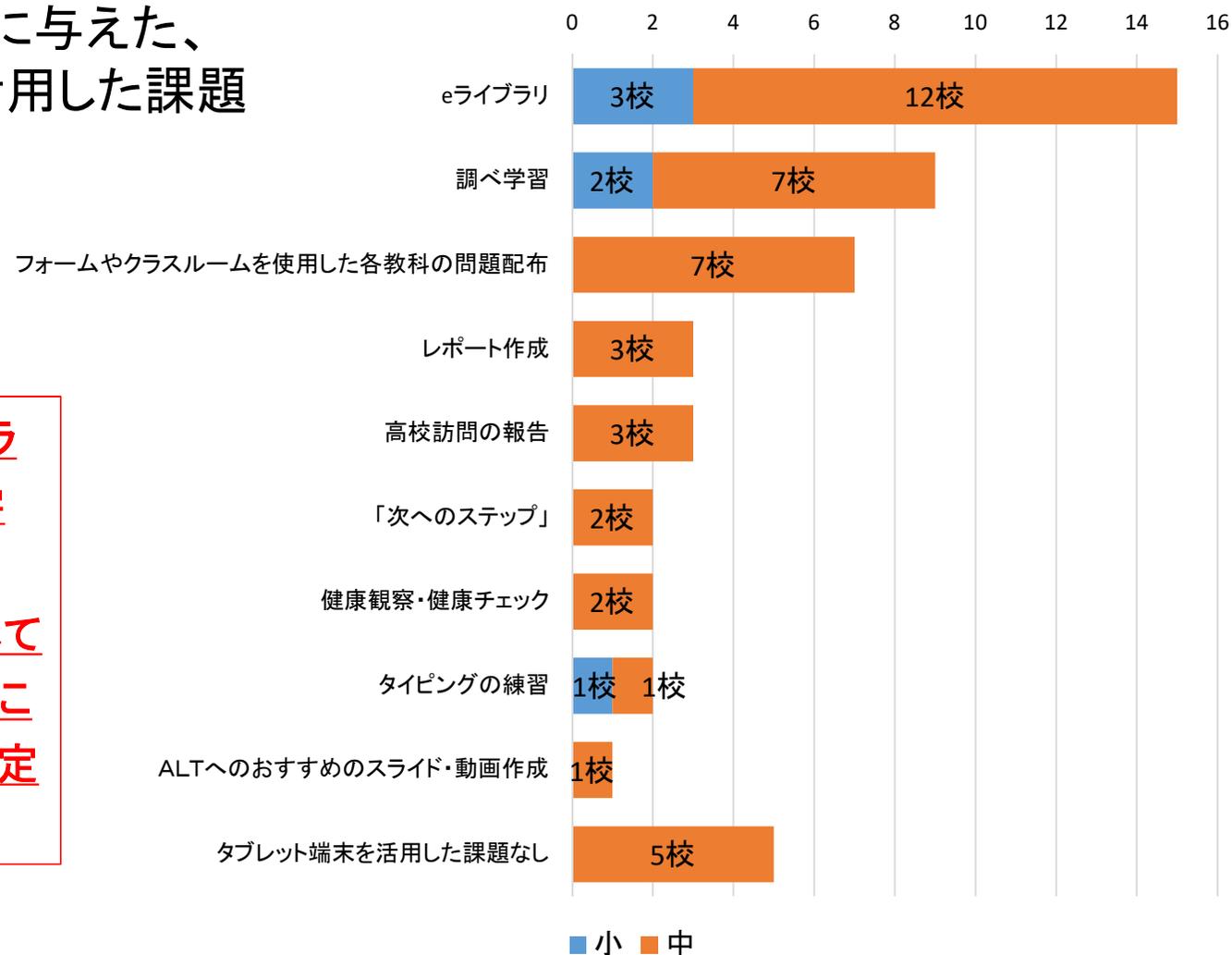
(小) 持ち帰らせなかった理由(複数回答)



## 2(1)実際に与えた課題の内容

### ● 夏季休業期間中に与えた、 タブレット端末を活用した課題 (複数回答)

- ・ 問題を解かせる課題(eライブラリなど)を出した学校が多かった。
- ・ そのほか、端末を活用して調べたり報告したりすることを課題とした学校も一定数あった。



## 2(2)児童・生徒の取り組み状況

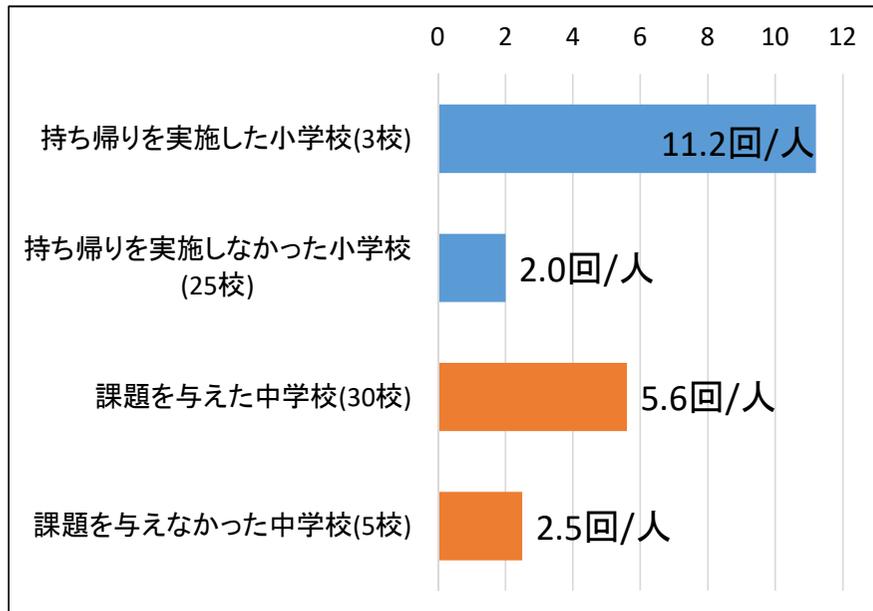
---

- ① 大半の課題では、多くの児童・生徒がタブレット端末を活用して問題なく取り組んでおり、宿題の範囲外に取り組む生徒もいた。
- ② 一部の自由課題としたものについては、あまり取り組めていない傾向にあった。
- ③ 学校が取り組み状況を把握しきれていないケースも、一部あった。
- ④ 持ち帰りを実施した学校、課題を与えた学校のほうがより活用が進んでいる傾向があった(次頁参照)。

## 2(2)児童・生徒の取り組み状況

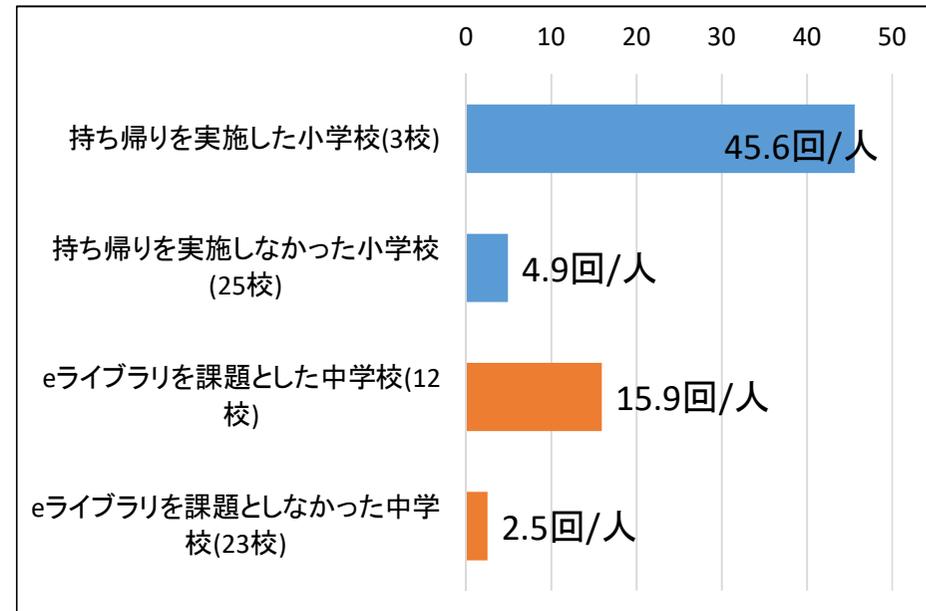
### 【参考】タブレット端末やeライブラリの利用状況について

夏季休業期間中における1人あたり  
Googleログイン回数



最多の学校17.9回/人 最少の学校0回/人

夏季休業期間中におけるeライブラリの  
ドリルを解いた1人あたり回数

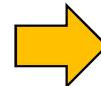
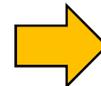
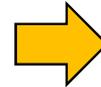
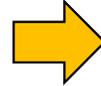


最多の学校100.6回/人 最少の学校0回/人  
※調査対象外だが活用が進んでいた学校もあった。  
(最多は155.5回/人)

## 2(3)課題や問題点、及び改善方策

### 【課題・問題点】

- ① 課題準備の時間を十分確保できず、児童・生徒への説明・指導も不足していた。
- ② 家庭での操作をフォローする必要があった。
- ③ 3機種が混合しているため、持ち帰りのできないWindows端末を割り当てなおす必要が生じたり、環境が同一でないので課題の選定が限定される問題があった。
- ④ 端末で課題を提示しても、児童・生徒側がきちんと確認しているとは限らず、連絡が確実に伝わらない。



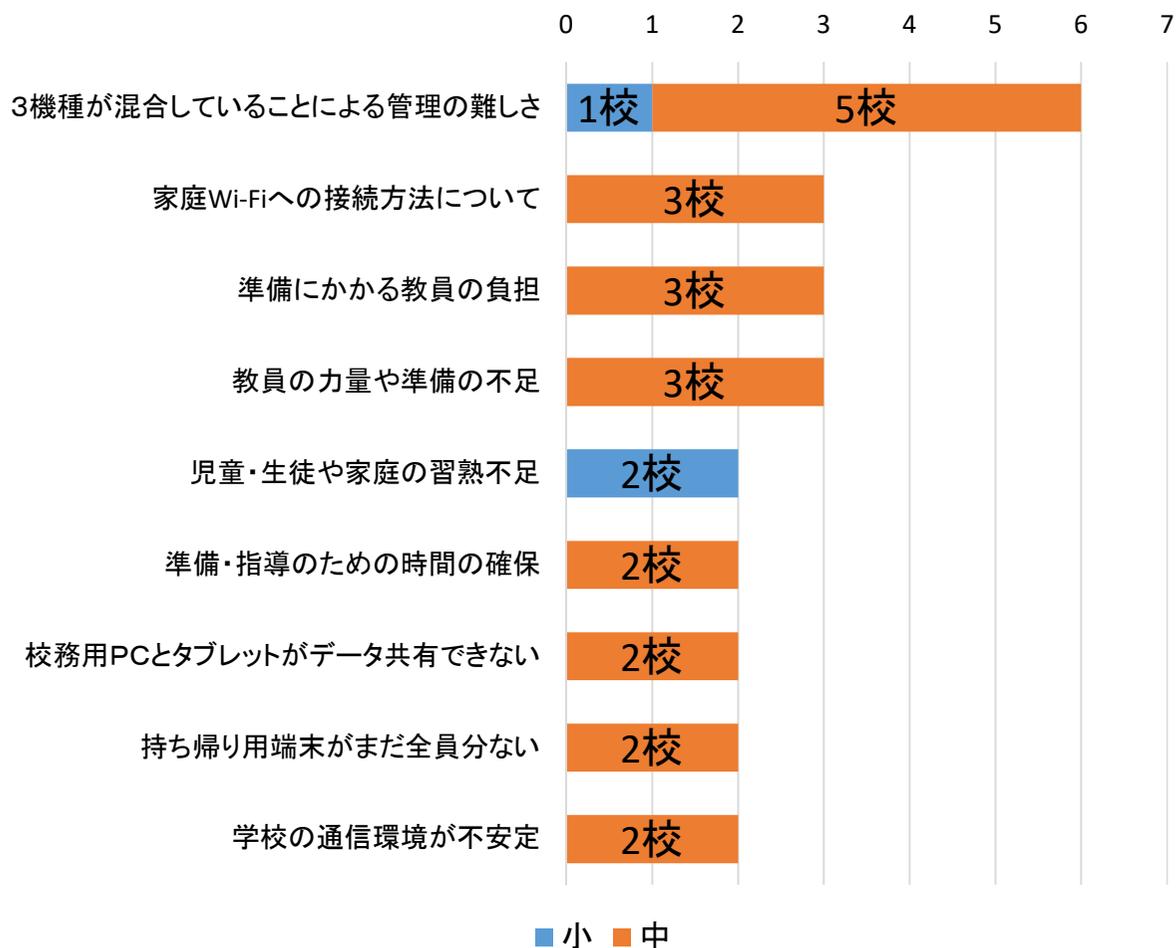
### 【改善方策】

- ① 早期に課題準備に着手し、事前説明・事前指導の時間を十分にとる。
- ② わかりやすいマニュアルを整備し、ホームページ等で端末操作に関する情報を家庭向けに発信する。
- ③ 次期機器更改に向けて、機種の一掃を検討する。
- ④ 児童・生徒が端末にログインする習慣を定着させる。

### 3 持ち帰り端末活用の取り組み全体を通じてわかったこと等

#### ● 持ち帰りを通じて、 浮かび上がってきた課題や 問題点(複数回答)

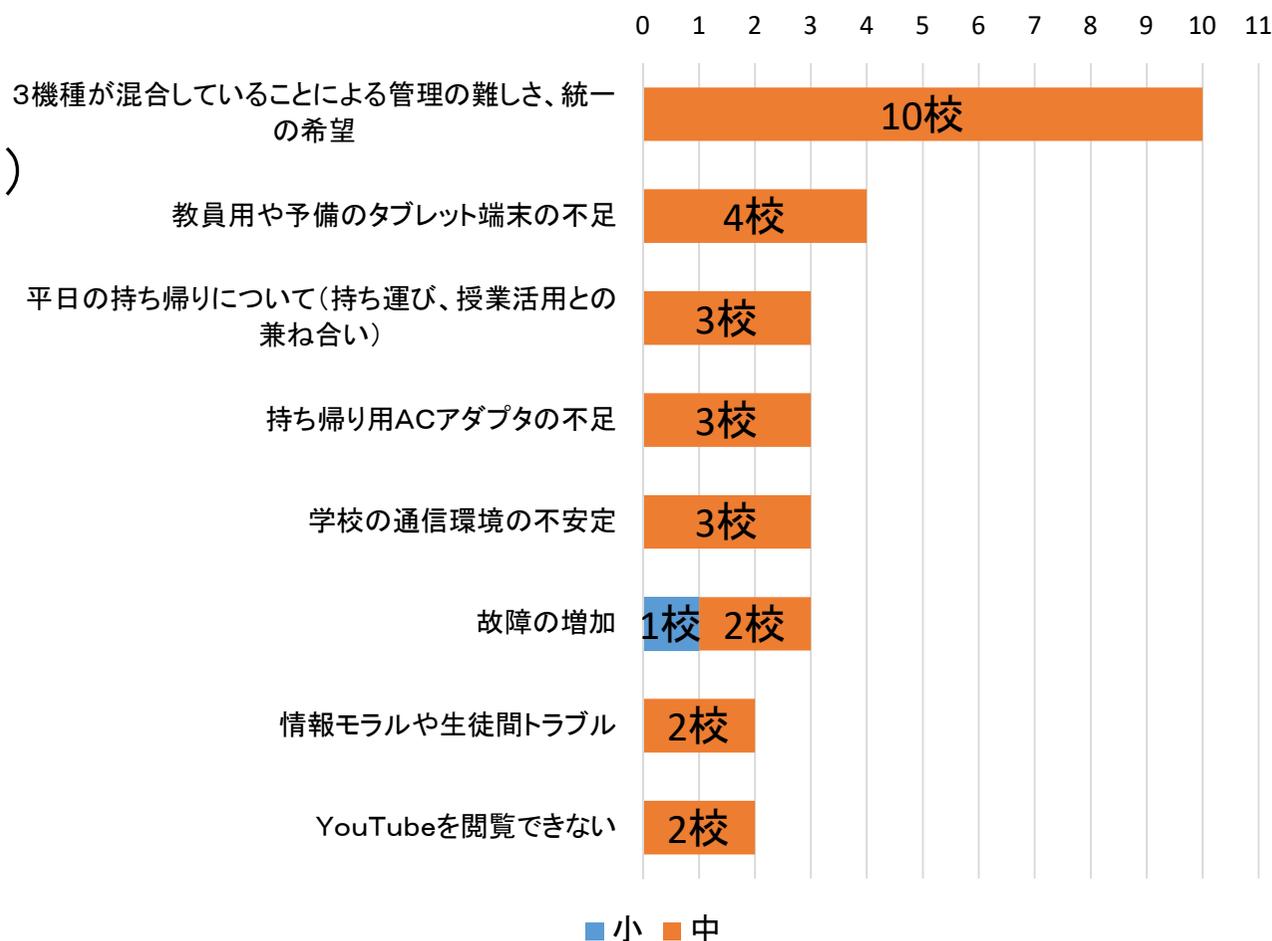
- 3機種の混合による管理の煩雑化が大きな課題である。
- そのほか、児童・生徒や家庭へのサポートを必要とする課題が多く挙げられた。



### 3 持ち帰り端末活用の取り組み全体を通じてわかったこと等

#### ● 今後の持ち帰りに改善していきたい点や懸念している点(複数回答)

- ・ 機種の一統を希望する声が多数あった。
- ・ 端末やACアダプタが不足していることへの懸念を挙げる学校も多かった。



### 3 持ち帰り端末活用の取り組み全体を通じてわかったこと等

#### 【児童・生徒の取り組み方について】

- ① 学校からの指示や課題があれば端末を利用するが、指示や課題がなければ活用しない傾向があることが明らかである。
- ② 端末を使って何をするのかを明らかにしたうえで持ち帰らせることが必要である。

#### 【教員による準備について】

- ① ICTを使った課題の作成や提出方法の確立のための準備時間を十分確保できなかったことが課題である。
- ② 今後は通常授業に取り入れたり、早期・計画的に準備に取り組む必要がある。

### 3 持ち帰り端末活用の取り組み全体を通じてわかったこと等

#### 【家庭へのサポートについて】

- ① 家庭Wi-Fiへの接続方法、端末・eライブラリへのログイン、Google Meetへの参加等に関する問合せが多い。
- ② マニュアルを充実させるとともに、区ホームページの「あだち学校ICT情報ひろば」に掲載していることを事前周知していく必要がある。

#### 【端末について】

- ① 3機種（Windows端末、LTE対応Chromebook、LTE非対応Chromebook）が混合していることにより、割り当ての再調整や使用方法の説明が複雑になり、端末の管理も煩雑化している。  
今後、次期機種を選定していくうえで、機種の一貫性も見据えた検討が必要である。
- ② 持ち帰り用端末がまだ全員分ないため、Windows端末の持ち帰り用設定変更を確実に完了させる必要がある。
- ③ 児童・生徒用の予備機や教員用端末が不足しており、故障時の対応や教員の業務等に支障をきたしている学校がある。